

丹波地域被災者支援活動研修会 実施要領

1 目 的

多様化する自然災害に備えた地域防災力の強化を図るため、「自分たちの命は自分たちで守る」という意識を醸成し、平素より市域を越えた丹波地域内の関係機関と「顔が見える関係」を構築する。

2 日 時

令和8年11月16日（月）13:30～15:30（2h）

3 場 所

四季の森生涯学習センター 東館 大会議室（丹波篠山市網掛 429）

4 内 容

講演やグループワークを通じて、各団体および担当者が自身の所有するリソース・ノウハウ（個人の特技含む）を知ること、平時・災害時の連携に役立てるとともに、日ごろから担当者同士で気軽に連絡・相談できる「顔が見える関係」を構築する。

テーマ：日頃の備え、つながりの大切さ

※昨年度実施した研修のアンケートにおいて、最も要望の多かったテーマを選定

時 間：2時間程度

（1）講演（30分）

講師：松川 杏寧 氏（兵庫県立大学大学院 准教授）

演題：「災害に強い地域をつくる『つながり』の力ー平時の関係を災害時の支援につなげるー」

ねらい：災害時には、行政や防災関係機関だけでなく、地域団体、福祉関係者、ボランティアなど、平時から地域で活動する多様な主体の力が重要になります。災害時にこうした力を生かすために、なぜ平時からの「顔が見える関係」が重要なのかを、災害事例等を交えながら解説します。

（2）グループワーク（75分）

テーマ：「つながる防災ワールドカフェーお互いを知り、地域でできることを見つけようー」

ねらい：ワールドカフェ方式により、参加者が少人数のグループでメンバーを入れ替えながら対話します。それぞれの団体が「普段どのような活動をしているのか」を知り合うことから始め、平時の活動や人・場所・資源が災害時にどのように生かせるか、さらに他の団体とつながることのできるかを話し合います。

（3）全体共有・まとめ（15分）

5 参加者想定

30名～40名程度

※以下団体に参加依頼 計77団体：（ ）は団体数

- ・県民局：防災、健福、土木、教育事務所（4）
- ・市：防災、福祉、土木（6）
- ・社会福祉協議会（2）
- ・防災士会（2）
- ・災害ボランティア団体：みんなで減災し隊！、ウイズささやま、いずみ会、きずな、ぼんぽ好（6）
- ・商工会、青年会議所（4）
- ・県域団体（コープこうべ）（1）
- ・まちづくり協議会、自治協議会：会長、防災担当等（44）
- ・地域国際交流協会（2）
- ・自衛隊兵庫地方協力本部柏原地域事務所（1）
- ・マスコミ：新聞、地域FM（6） 等